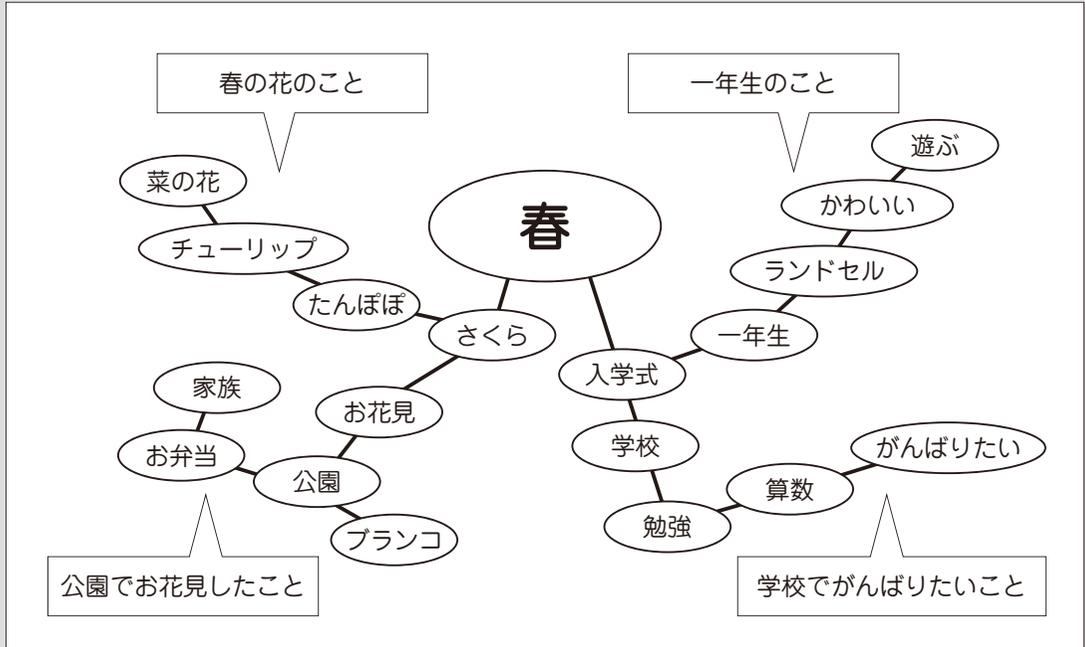


マインドマップ

アイデアを出して、考えを広げたり、整理したりすることができるツール

たとえば…



これは「マインドマップ」というツールだよ。どんどんアイデアを出せるんだ。

くわしく教えて！



中心の円の言葉から、関係があること、思い付いたことをどんどん周りに書いて、線でつなげていくんだ。できるだけたくさん書くことが大事。思い付いたら、さらにつないで書いていこう。

なるほど。アイデアがいっぱい書けたらどうするの？



似たもの同士をまとめたり、名前を付けたりするとアイデアを整理できるよ。線で囲んだり、色を付けたりするといいよ！

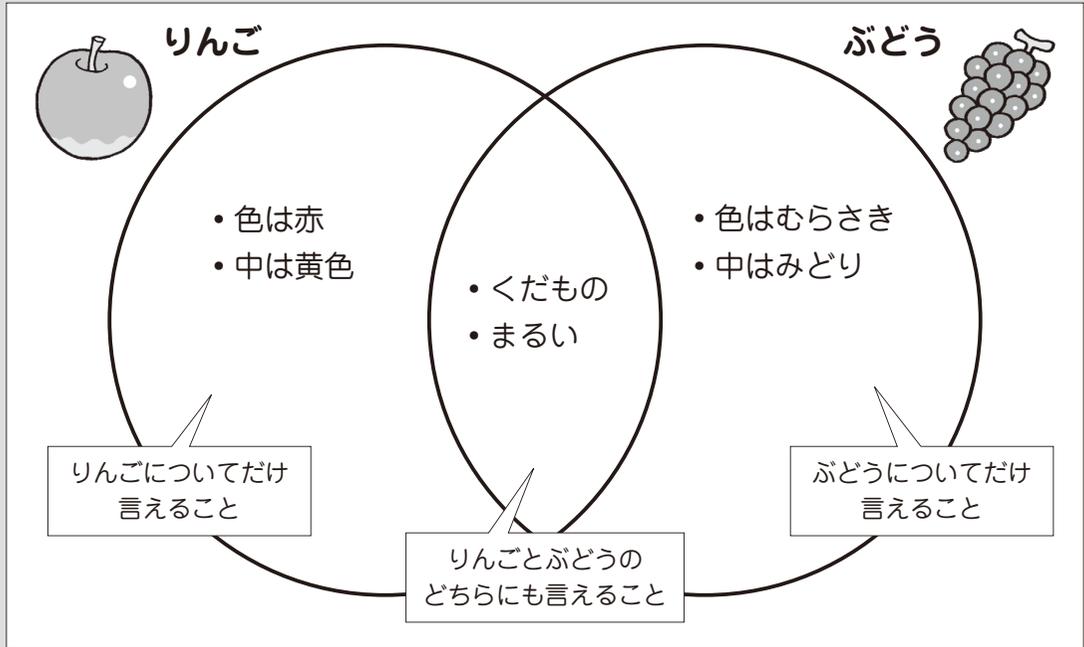


ベン図

二つ以上のものを比べて、同じところやちがうところをハッキリさせることができるツール



たとえば…



これは「ベン図」というツールだよ。二つのものを比べて、同じところやちがうところをはっきりさせることができるんだ。

くわしく教えて！



二つの円がかさなっているところ、ここには「りんごとぶどうのどちらにも言えること」を書くんだよ。たとえば、「くだもの」「まるい」「木になる」ことは、どちらにも言えることだよね。

なるほど。では、かさなっていないところには何を書けばいいの？

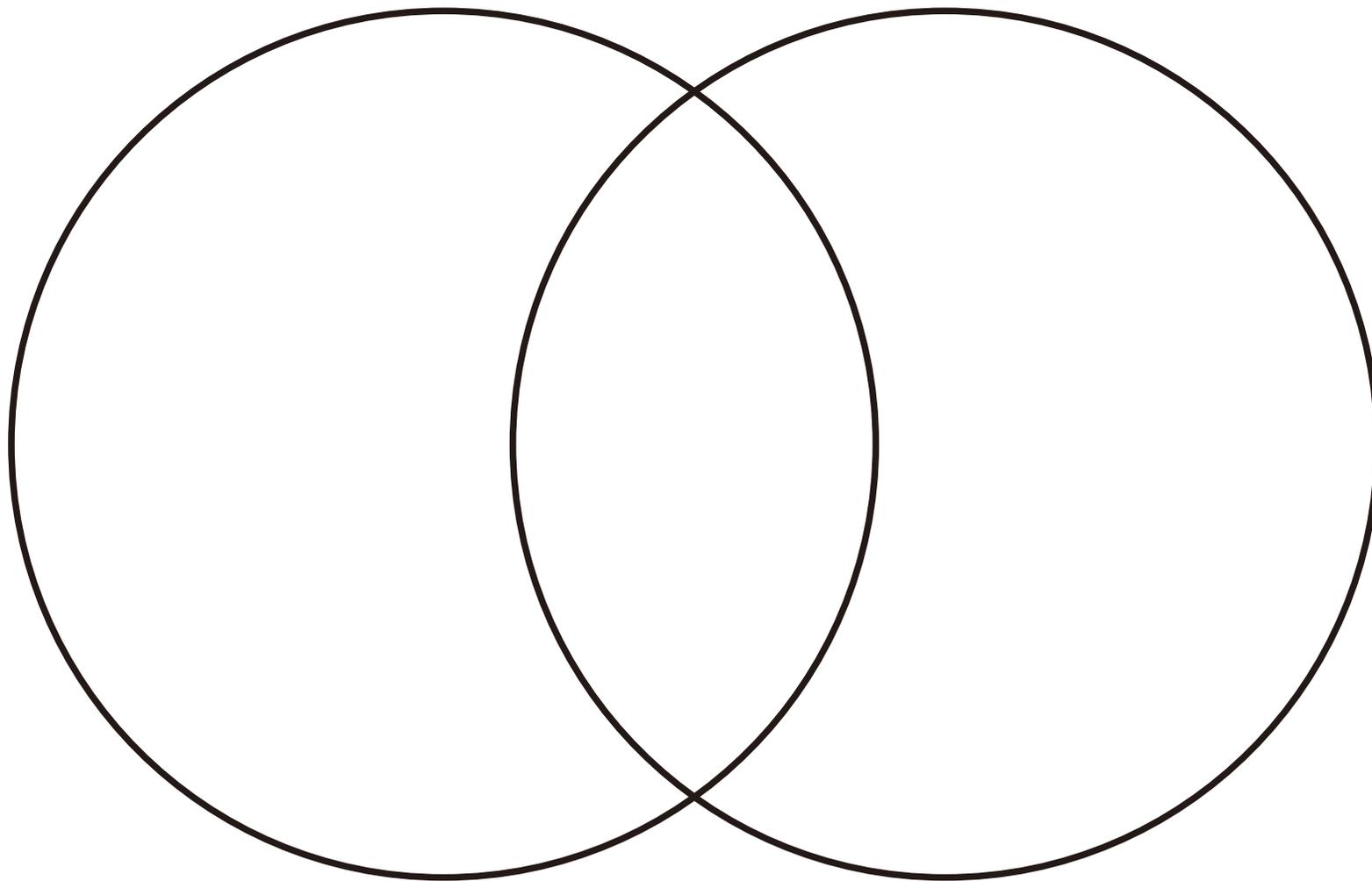


ここには、「そのものについてしか言えないこと」を書くんだよ。つまり、りんごだけ、ぶどうだけ、どちらかにしか言えないことを書くのさ。



ベン図

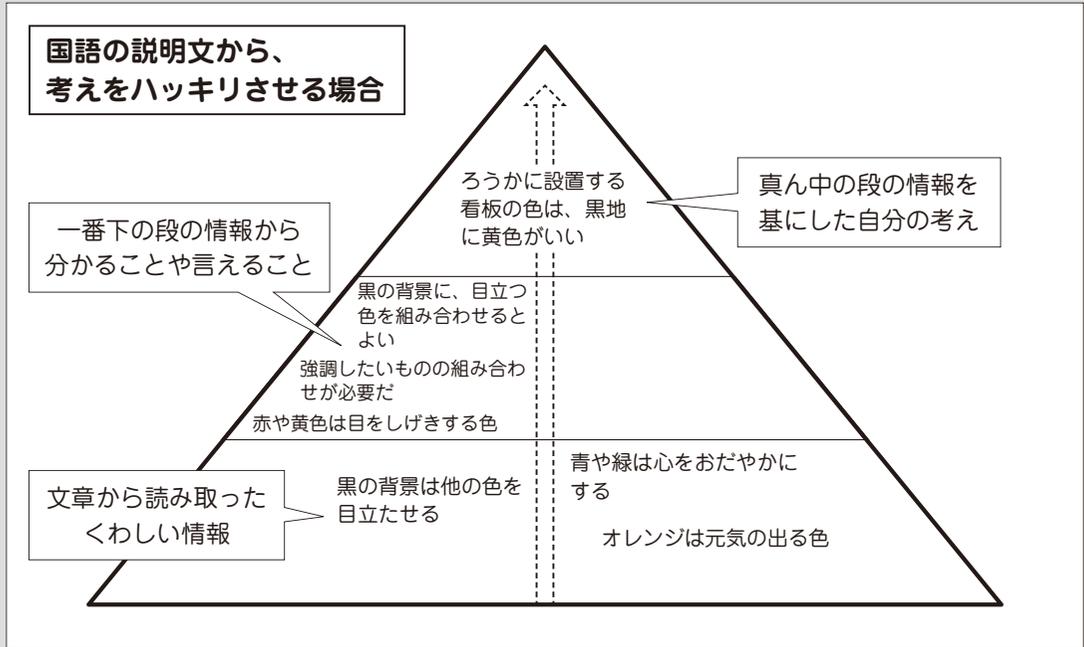
月 日 () 出席番号 名前



ピラミッドチャート

たくさんの情報を順番に整理して、考えをハッキリさせることができるツール

たとえば…



これは「ピラミッドチャート」というツールだよ。たくさんの情報を順番に整理して考えていくんだよ。

なんでピラミッドの形なの？



それはね、必要な情報を下から上にしぼっていくためだよ。

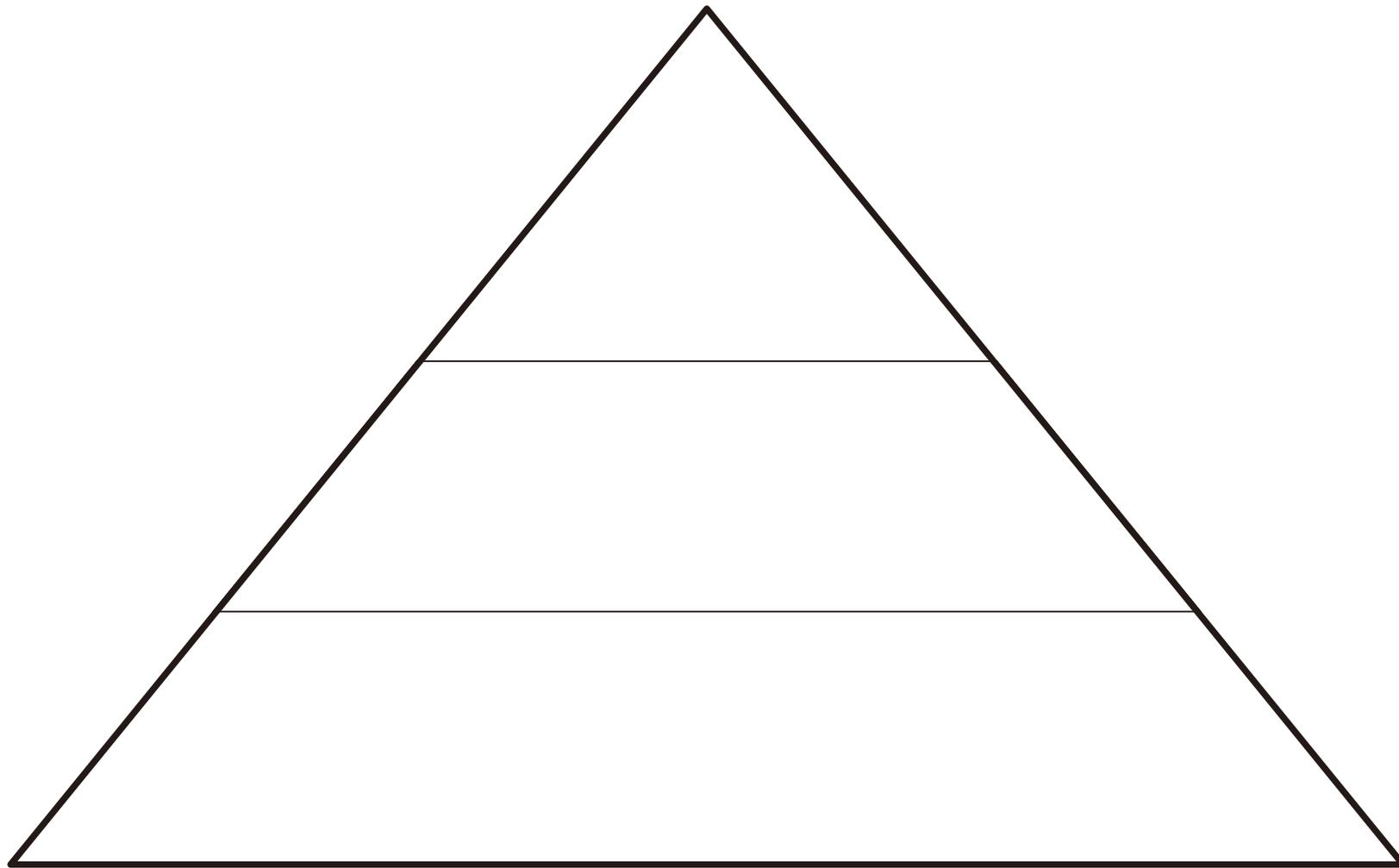
なるほど。どんなことを書けばいいかくわしく教えて。



まず、一番下の段に、文章から読み取ったくわしい情報を書くよ。次に、真ん中の段に、情報から分かることや言えることを書くよ。最後に、一番上の段に、自分の考えを書くよ。「主張」って言うときもあるんだ。

ピラミッドチャート

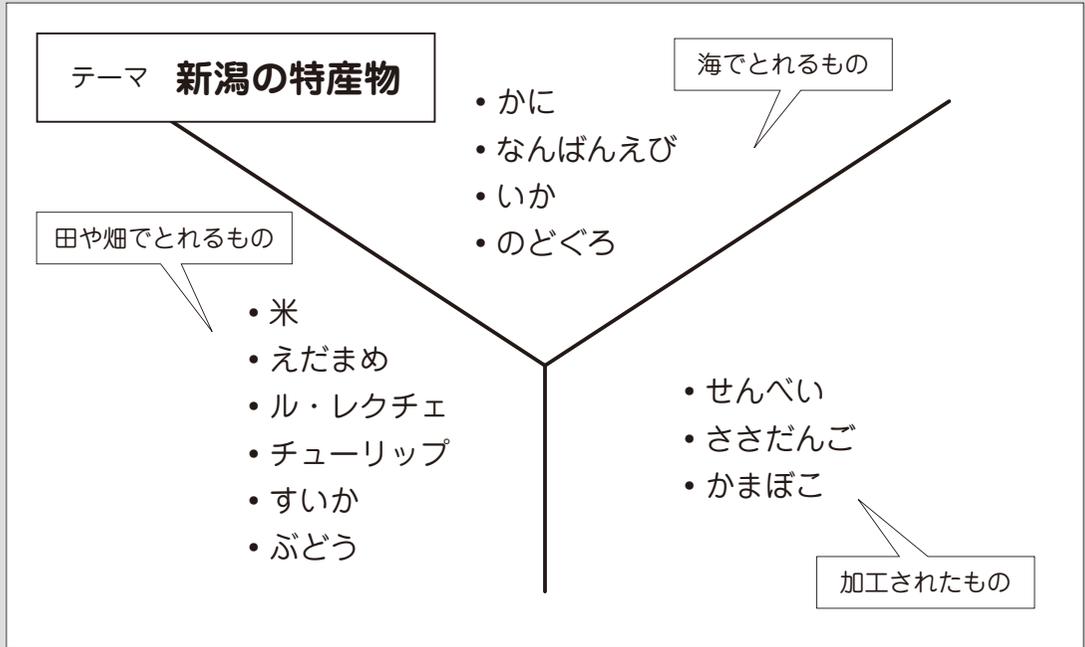
月 日 () 出席番号 名前



Yチャート (X、Wチャート)

たくさんの情報をいくつかの視点で分けることができるツール

たとえば…

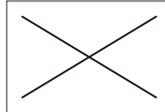


これは「Yチャート」というツールだよ。たくさんの情報を三つの視点で分けて整理できるんだ。

本当だ。特産物の中でも田や畑でとれたものが多いんだね。



四つの視点なら「Xチャート」、五つの視点なら「Wチャート」と使い分けるといいんだよ。



なるほど。視点を増やしたチャートもあるんだね。

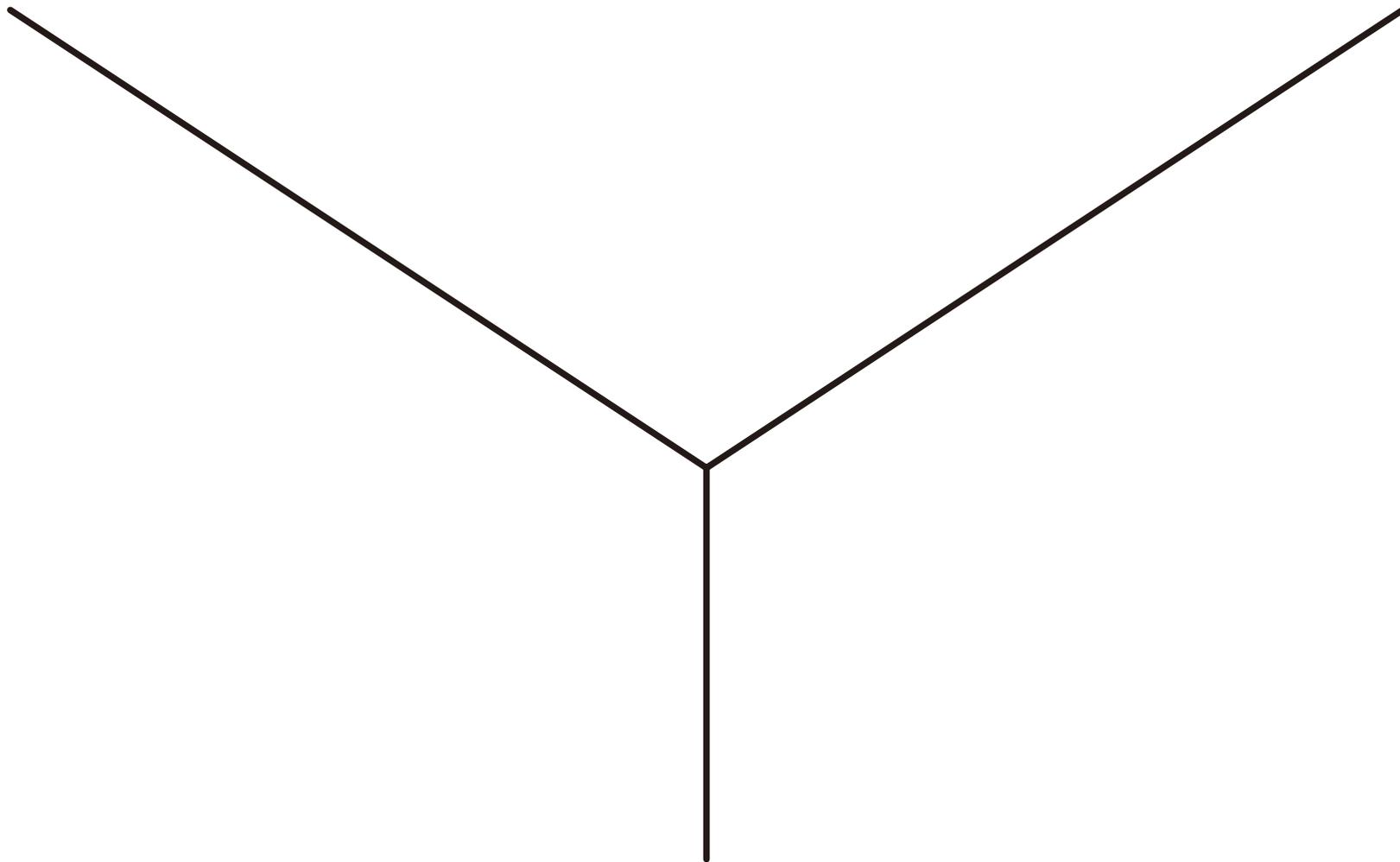


そう。たとえば、「見たこと」「聞いたこと」「体験したこと」「調べたこと」なら、四つの視点の「Xチャート」を使うといいね。



Yチャート

月 日 () 出席番号 名前

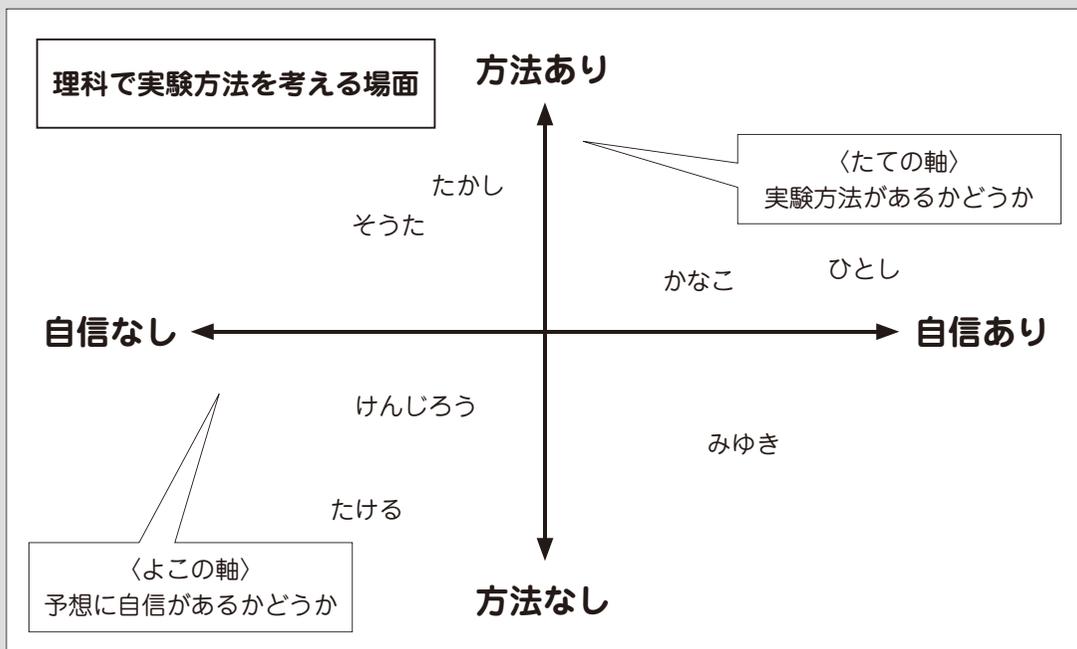


座標軸

二つの見方で分類し、立場を確認することができるツール



たとえば…



これは「座標軸」というツールだよ。出来事などを二つの見方で分類し、それぞれの立場を確認できるんだ。

それぞれの考えを出し合いたいときに使うんだね。



そうだね。予想の自信と実験方法があるかないかがいっぺんに分かるよ。

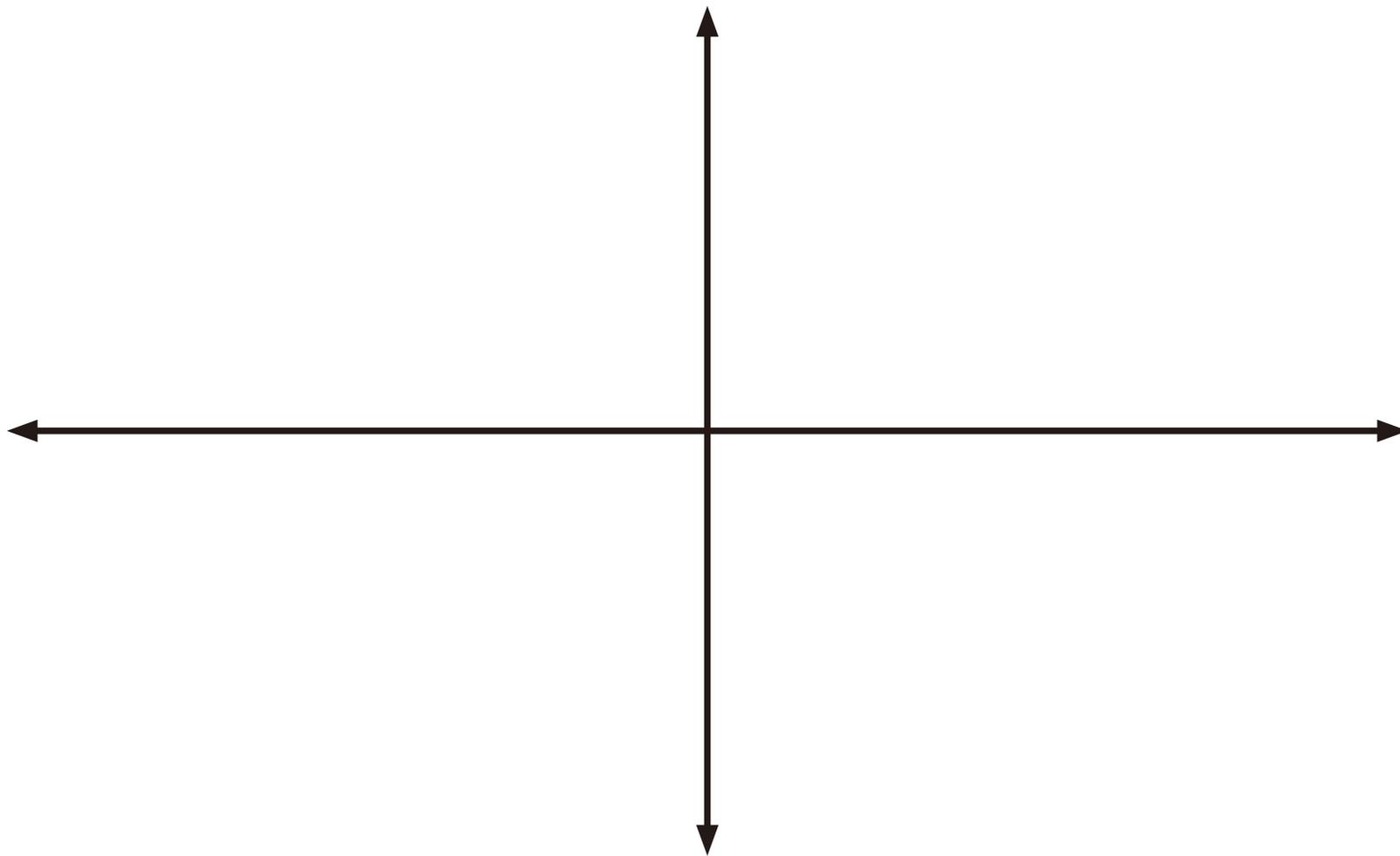
なるほど。みんなの立場が分かって便利だね。



そうだよ。だから話合いの見通しがもてて、考えを出しやすくなるんだよ。

座標軸

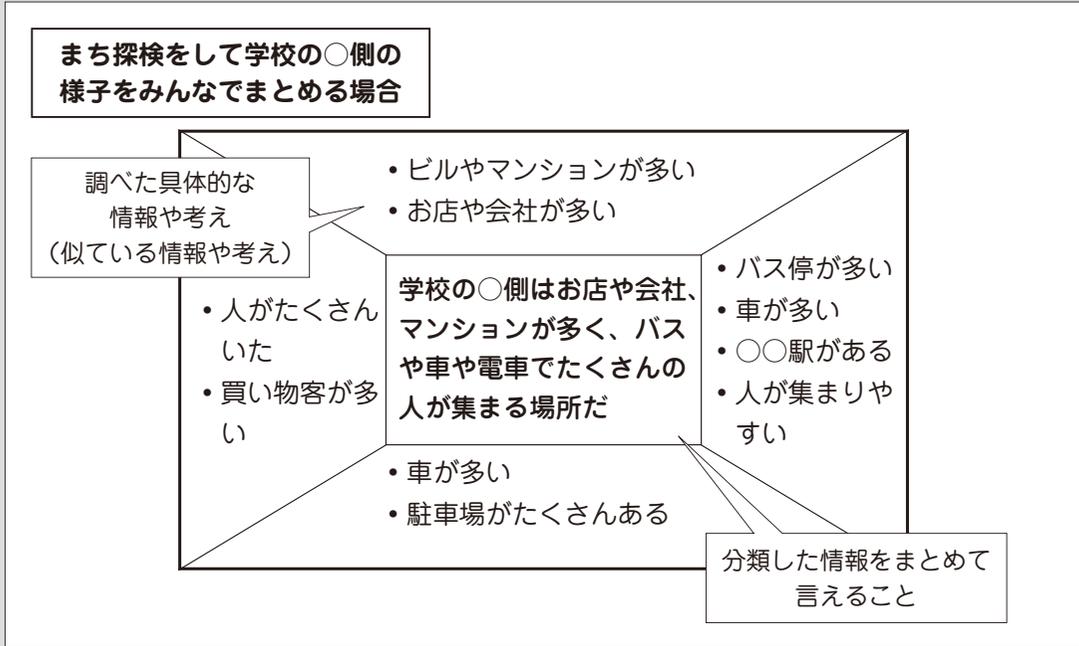
月 日 () 出席番号 名前



コア・マトリクス

複数の情報や考えを分類、総合して、結論を導くことができるツール

たとえば…



これは、「コア・マトリクス」というツールだよ。情報や考えをまとめて答えを出すことができるんだ。

くわしく教えて！



まず、調べて分かった情報や考えを、似ているもので分けて、まわりの窓に整理するんだよ。たとえば、「人の様子」「建物の様子」「交通の様子」などのようにね。

なるほど。じゃあ、真ん中の窓はどうするの？



ここには、まわりの窓の情報や考えをまとめて、言えることを書くんだよ。「まとめると(つまり)、こうだ!」というように、答えができてあがるんだ。

コア・マトリクス

月 日 () 出席番号 名前

Xチャート

月 日 () 出席番号 名前

